映画がシナリオをもとに作成されていくということは、言葉を元にしてイメージが作成されてゆくということであり、観客の仕事は、イメージから言葉を読みだすことです。ところが、映画のワンショットだけを取り出してみて見ると映画を鑑賞した時とはまったく違った情報がそこにあることがわかります。ショットに分解されたイメージを編集することで、異った文脈を生成することも可能です。今回のワークショップでは、1951年に製作されたヒッチコックの「見知らぬ乗客」を分解しデータベース化し、入力された文章から映画を生成させるシステムを構築していきました。

Hitchcock Co

ヒッチコック・クッキング

元になるショットそれぞれへのアノテーション (ことば付け) 作業も、学生各自の個性が反映された ものであり、また入力された文章も個人的な発想 によるものです。元となるヒッチコックの素材の 素晴らしさに支えられた作品ではありますが、元の映画のことを忘れて見てみた時には、想像もし なかったような、新たな物語をそこから読み出す ことが可能です。是非、映画としてではなく、あらたな映像による物語への実験として見ていただけると幸いです。





2063.png saved 2063.mp4 saved 7063.mp4 saved 10921.mp4 -i 2063.mp4 -i 0084. p4 -i 2076.mp4 -i 1031.mp4 -i 2095.mp4 i 1095.mp4 -i 2062.mp4 -i 0069.mp4 -i 1 x "concat=n=17:v=1:a=1" 驚きの部屋.mp4 MF-MacBook-Pro:new masaki_alt\$

映像創作論:藤幡正樹・北野圭介 システム構築:望月茂徳・大島登志一

展示作品制作メンバー:

森下誠也、三戸千尋、渡辺香志、舘脇望

立命館大学映像学部 映像創作論成果発表展 2017.8.30 (Wed) 16:00-17:00 立命館大学衣笠キャンパス 充光館 1F 学生ラウンジ

0000.png saved 0000.mp4 saved

1062.png saved

1062.mp4 saved 2062.png saved 2062.mp4 saved

1095.png saved 1095.mp4 saved

2095.png saved 2095.mp4 saved

ユニークヒットしました

同一ショットが選択されたため再選択します

同一ショットが選択されたため再選択します

同一ショットが選択されたため再選択します

10

063

063

066

1066.mp4 1023.png saved

1023.mp4 saved 2023.png saved 2023.mp4 saved 1064.png saved 1064.mp4 saved 2064.png saved 2064.mp4 saved 1032.png saved 1032.mp4 saved 2032.png saved 2032.mp4 saved 1066.png saved 1066.mp4 saved 2066.png saved 2066.mp4 saved 1063.png saved 1063.mp4 saved